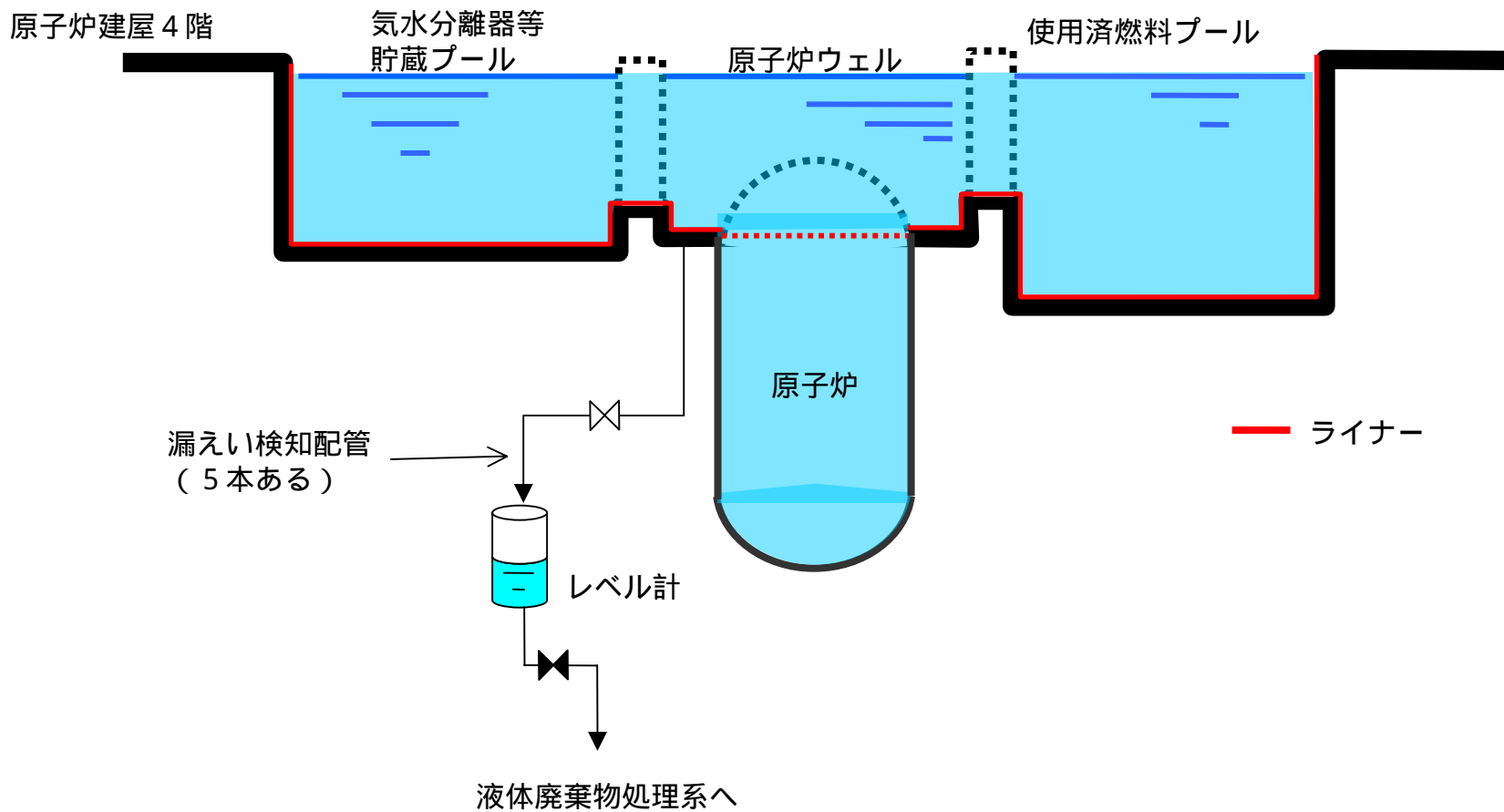


区分：Ⅲ

号機	7号機	
件名	原子炉ウェルライナードレン水の検知について	
不適合の概要	<p>当所7号機については平成19年10月8日に原子炉の水張り作業を完了しておりますが、同日午後0時頃、原子炉ウェルライナー*¹につながる配管のレベル計*²内に水が溜まっていることを当直員が確認しました。</p> <p>ライナーからのドレン（排水）は全てレベル計に集められる構造となっており、その原因を調査するためレベル計内に溜まる水の傾向を監視するとともに、本日、レベル計内に溜まった水の分析を実施しました。</p> <p>その結果、10月9日午後2時12分、微量の放射性物質（アンチモン124等）が検出されたことから、今回、原子炉上部の水張りにともなう水の一部がライナーを通じてレベル計に流入し、検出されたものと推定しました。レベル計への水の流入（1時間に約500cc）は現在も継続しておりますが、今後、燃料の移動を行い、炉心および炉底部の点検を実施するとともに、ライナーの点検を実施することとします。</p> <p>これによる外部への放射能の影響はありませんでした。</p> <p>*1：原子炉ウェルライナー 原子炉の点検用の水張りスペース内に張られているステンレス製の内張。</p> <p>*2：レベル計 原子炉ウェルにはステンレスによる内張りがされており、内張りからの漏えいを検知するため、内張りの外側に溝を設置し、溝からの流れをレベル計にて確認できるようになっており、内張りとの間に発生する結露水についても同レベル計に溜まる。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>今後、レベル計の確認頻度を増やして監視を強化するとともに、原子炉ウェルライナーの点検を実施してまいります。</p>	



7号機原子炉ウェル漏えい検知の概略図